

I 市町立小中学校等

1 学 校 建 物

(1) 学 校 数

平成30年度以降における学校数の推移は、表1のとおりである。

小学校数、中学校ともに、平成8年度以降減少しているが、これは児童数の減少に伴い、適正規模にするための学校の統廃合が行われているためである。

令和6年度は、新たに大田原市に小学校が設置された。

表1 学校数の推移

(校)

年 度			30	1	2	3	4	5	6
区 分									
小 学 校			361 (△6)	358 (△3)	348 (△10)	349 (1)	343 (△6)	334 (△9)	330 (△4)
中 学 校			156 (△1)	156 (0)	155 (△1)	155 (0)	153 (△2)	148 (△5)	148 (0)
義務教育学校			2 (0)	2 (0)	3 (1)	3 (0)	4 (1)	6 (2)	6 (0)
計			519 (△7)	516 (△3)	506 (△10)	507 (1)	500 (△7)	488 (△12)	484 (△4)
増 減 内 訳	小 学 校	設 置	0	1	1	1	1	0	1
		廃 止	6	4	11	0	7	9	5
	中 学 校	設 置	0	0	0	0	1	0	0
		廃 止	1	0	1	0	3	5	0
	学 務 教 育	設 置	0	0	1	0	1	2	0
		廃 止	0	0	0	0	0	0	0

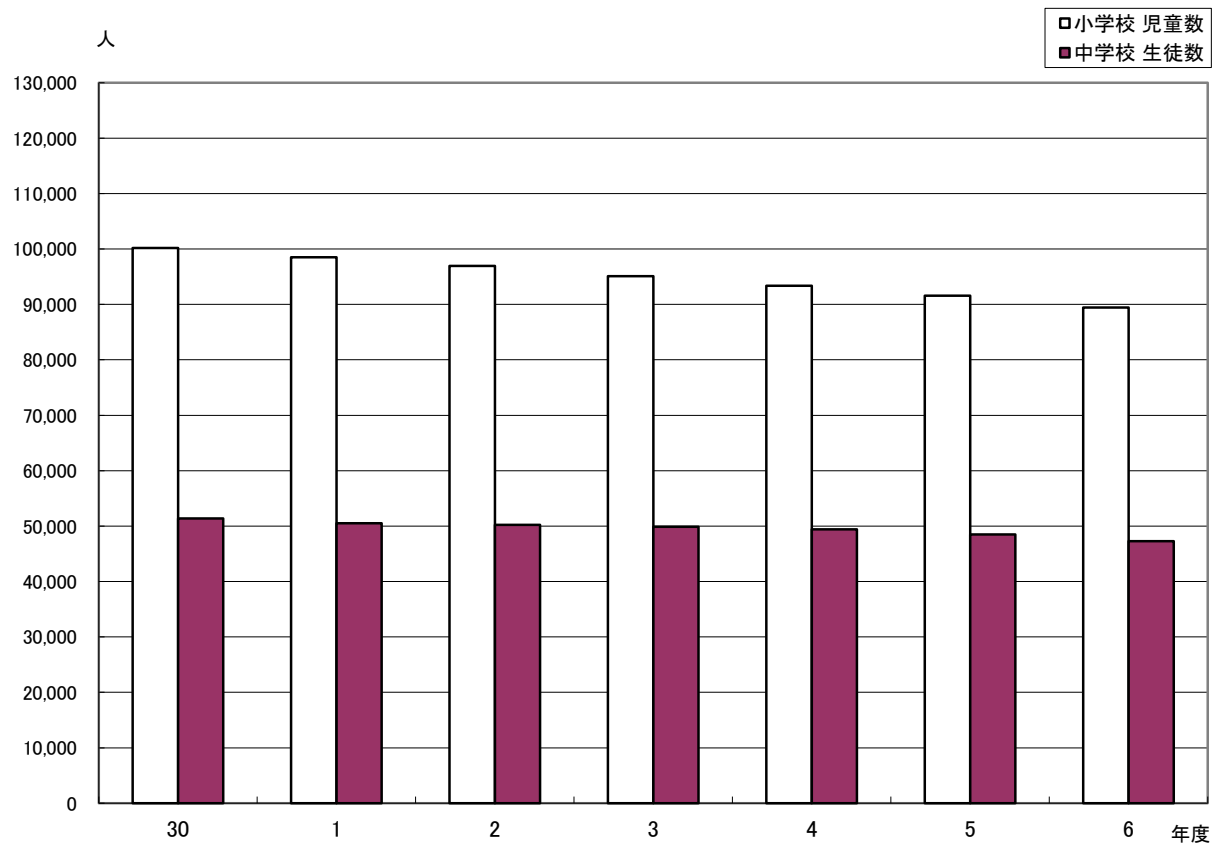
※ 中学校の学校数には県立中学校分を含む。

(2) 児 童・生 徒 数

平成30年度以降における児童・生徒数の推移は、図1のとおりである。

児童数については、昭和57年度(187,709人)をピークに年々減少しており、生徒数についても昭和58年度以降、急増傾向にあったが、昭和62年度(96,569人)をピークに減少を続けている。

図1 児童・生徒数の推移



(人・クラス)

年 度		30	1	2	3	4	5	6
小学校	児童数	100,161	98,512	96,930	95,083	93,349	91,564	89,436
	学級数	4,198	4,165	4,122	4,144	4,118	4,169	4,147
中学校	生徒数	51,386	50,542	50,213	49,854	49,427	48,492	47,283
	学級数	1,805	1,771	1,759	1,764	1,749	1,755	1,713

※ 学級数は、令和6年度公立学校施設の実態調査による。

※ 中学校の生徒数、学級数には県立中学校分を含む。

※ 義務教育学校については、1～6学年を小学校、7～9学年を中学校として数値等を各校へ計上した。

(3) 保有面積

校舎及び屋内運動場の構造別保有面積は、表2のとおりであり、合計の保有面積の伸び率(平成30年度＝100)は、図2のとおりである。

校舎の鉄筋化率(全保有面積に占める非木造建物の割合)は、横ばいである。

なお、令和5年度は、全国平均と同様となっている。(表3)

表2 保有面積の推移
① 校 舎

(%・㎡)

年 度		30	1	2	3	4	5	6
区 分								
小 学 校	鉄筋コンクリート	(96) 94.7 1,394,225	(96) 94.8 1,397,010	(96) 94.7 1,384,743	(96) 94.7 1,390,554	(96) 94.7 1,380,405	(96) 94.6 1,366,347	(-) 94.7 1,357,445
	鉄 骨	(3) 3.7 54,420	(3) 3.6 53,386	(3) 3.8 55,417	(3) 3.8 55,870	(3) 3.8 55,823	(3) 3.9 56,429	(-) 3.8 54,264
	そ の 他	(1) 1.6 24,166	(1) 1.6 24,081	(1) 1.5 21,879	(1) 1.5 21,361	(1) 1.5 21,081	(1) 1.5 21,139	(-) 1.5 21,097
	木 造	(100) 100.0 1,472,811	(100) 100.0 1,474,477	(100) 100.0 1,462,039	(100) 100.0 1,467,785	(100) 100.0 1,457,309	(100) 100.0 1,443,915	(-) 100.0 1,432,806
	計							
中 学 校	鉄筋コンクリート	(96) 93.4 798,942	(96) 93.0 791,724	(96) 93.2 793,346	(96) 93.2 790,684	(96) 93.2 788,237	(96) 93.2 773,540	(-) 93.0 772,367
	鉄 骨	(3) 5.7 48,973	(3) 6.1 52,068	(3) 5.9 50,036	(3) 5.9 50,054	(3) 5.9 50,071	(3) 6.0 49,727	(-) 6.2 51,663
	そ の 他	(1) 0.9 7,582	(1) 0.9 7,570	(1) 0.9 7,570	(1) 0.9 7,570	(1) 0.9 7,506	(1) 0.8 7,087	(-) 0.8 7,055
	木 造	(100) 100.0 855,497	(100) 100.0 851,362	(100) 100.0 850,952	(100) 100.0 848,308	(100) 100.0 845,814	(100) 100.0 830,354	(-) 100.0 831,085
	計							

② 屋内運動場

(%・㎡)

年 度		30	1	2	3	4	5	6
区 分								
小 学 校	鉄筋コンクリート	(53) 12.6 39,312	(53) 12.4 38,471	(54) 12.3 37,657	(54) 12.2 37,657	(54) 12.3 37,265	(54) 12.1 35,899	(-) 12.3 35,857
	鉄 骨	(46) 82.6 257,804	(46) 83.1 259,053	(45) 83.1 254,707	(45) 83.2 255,876	(45) 83.1 251,960	(45) 83.2 247,293	(-) 83.0 243,093
	そ の 他	(1) 4.8 14,912	(1) 4.5 14,051	(1) 4.6 14,051	(1) 4.6 14,051	(1) 4.6 13,950	(1) 4.7 13,840	(-) 4.7 13,840
	木 造	(100) 100.0 312,028	(100) 100.0 311,575	(100) 100.0 306,415	(100) 100.0 307,584	(100) 100.0 303,175	(100) 100.0 297,032	(-) 100.0 292,790
	計							
中 学 校	鉄筋コンクリート	(60) 22.9 44,837	(60) 22.8 44,837	(60) 23.0 44,837	(60) 23.1 44,837	(61) 22.8 44,242	(61) 23.2 43,216	(-) 23.1 42,772
	鉄 骨	(39) 75.8 148,571	(39) 75.9 148,926	(39) 75.7 147,514	(39) 75.6 146,884	(38) 75.9 146,971	(38) 75.5 140,593	(-) 75.6 140,369
	そ の 他	(1) 1.3 2,622	(1) 1.3 2,622	(1) 1.3 2,622	(1) 1.3 2,622	(1) 1.3 2,469	(1) 1.3 2,407	(-) 1.3 2,407
	木 造	(100) 100.0 196,030	(100) 100.0 196,385	(100) 100.0 194,973	(100) 100.0 194,343	(100) 100.0 193,682	(100) 100.0 186,216	(-) 100.0 185,548
	計							

(注) 中段の数値は、建物区分ごとの構造比率(%)であり、上段()数値は全国の構造比率である。(令和6年度は12月末時点で未発表のため掲載していない)

図2 保有面積の伸び率（30年度＝100）

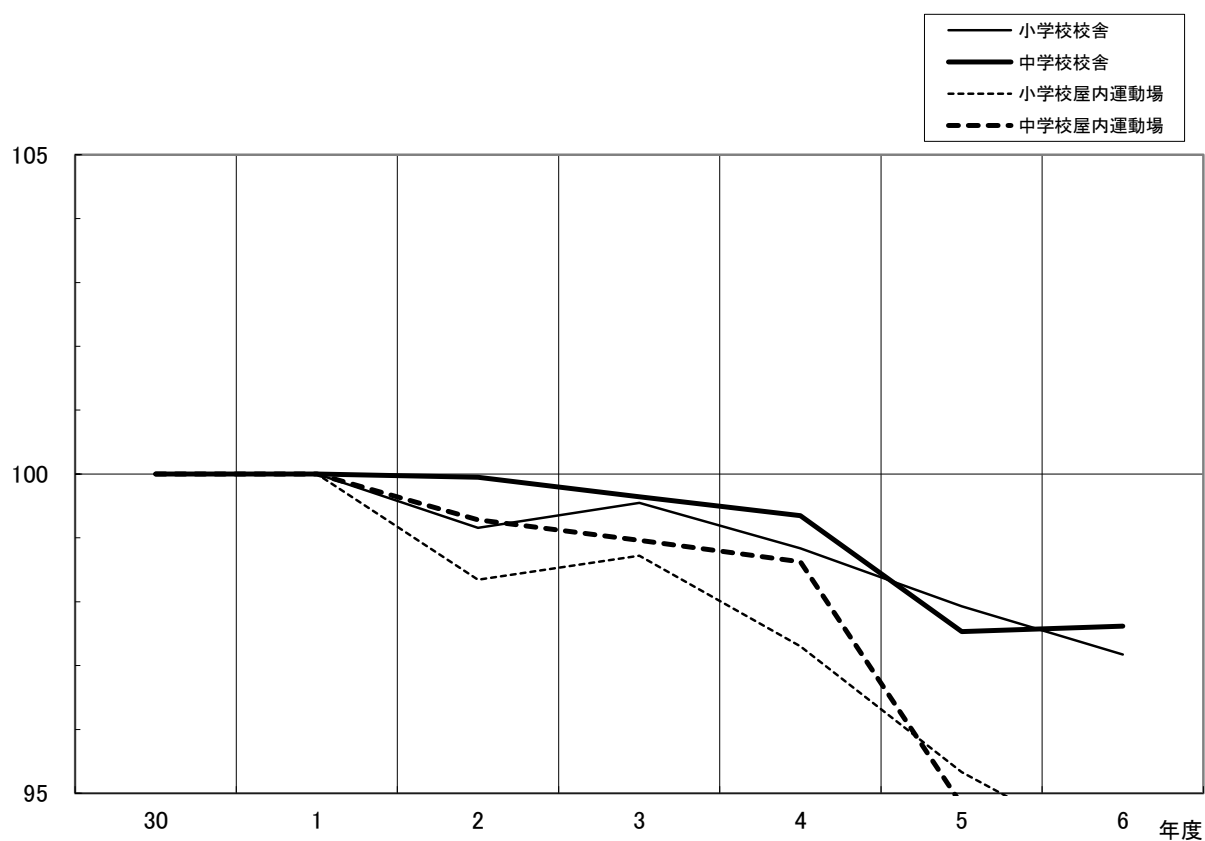


表3 校舎鉄筋化率の推移

(%)

区 分 \ 年 度	30	1	2	3	4	5	6
小学校	(98.7)	(98.7)	(98.7)	(98.7)	(98.7)	(98.7)	(-)
	98.4	98.4	98.5	98.5	98.6	98.5	98.5
中学校	(99.1)	(99.2)	(99.2)	(99.2)	(99.1)	(99.1)	(-)
	99.1	99.1	99.1	99.1	99.1	99.2	99.2
計	(98.8)	(98.9)	(98.9)	(98.9)	(98.8)	(98.9)	(-)
	98.6	98.6	98.7	98.8	98.8	98.8	98.8

- (注) 1. 鉄筋化率とは、保有面積に占める非木造建物の割合である。
 2. 上段 () 数値は全国の鉄筋化率である。（令和6年度は12月末時点で未発表のため掲載していない）

(4) 整備資格面積

- ※ 整備資格面積・・・学級数に応ずる必要面積から保有面積を控除した面積。
 新增築の国庫補助対象となる面積である。
- 必要面積・・・文科省の基準により、学級数等に応じて算出される、
 教育を行うのに必要な最低限の面積。

校舎及び屋内運動場の整備資格面積は、表4のとおりである。

校舎の整備資格面積は、必要面積の基準改定が行われた平成9年度は大幅に増加したものの、その後は減少を続けた。平成15年度から整備資格面積に多目的スペースの面積が算入されることとなったため、小学校校舎の整備資格面積は一時的に増加した。令和6年度においては、対前年度比5.1%減少、中学校については、13.0%の減少となった。

屋内運動場の整備資格面積は、平成9年度から徐々に減少していたが、令和6年度においては、小学校で対前年度比0.2%減少しており、中学校は横ばいで推移した。

なお、屋内運動場の保有状況は、表5のとおりである。

表4 整備資格面積の推移

(%・㎡)

区 分 \ 年 度		30	1	2	3	4	5	6
小学校	校 舎	(6.6) 5.0 67,384	(6.5) 4.9 65,159	(6.5) 4.6 60,734	(6.7) 4.7 61,867	(7.1) 4.4 57,623	(7.3) 4.5 58,766	(-) 4.3 55,761
	屋 体	(20.9) 18.4 66,953	(20.6) 17.9 64,090	(20.6) 17.1 59,335	(20.6) 17.2 60,038	(20.7) 17.6 60,563	(20.6) 17.1 57,284	(-) 17.2 57,416
中学校	校 舎	(3.7) 1.8 12,925	(3.6) 2.0 14,016	(3.7) 1.9 12,856	(3.9) 1.9 13,029	(4.1) 1.7 12,050	(4.1) 1.9 12,667	(-) 1.6 11,019
	屋 体	(15.4) 12.2 23,080	(15.0) 11.7 22,134	(15.0) 11.9 22,310	(15.1) 12.4 23,382	(15.1) 11.9 22,232	(15.2) 13.1 23,631	(-) 13.0 23,621

(注) 中段の数値は、必要面積に対する整備資格面積の割合であり、上段()数値は全国の比率である。(令和6年度は12月末時点で未発表のため掲載していない)

表5 屋内運動場の保有状況

区 分	保有校数		未保有校数		計	
	校	%	校	%	校	%
小 学 校	(18,447) 333	(98) 99.1	(423) 3	(2) 0.9	(18,870) 336	(100.0) 100.0
中 学 校	(9,025) 149	(97) 98.7	(306) 2	(3) 1.3	(9,331) 151	(100.0) 100.0
計	(27,472) 482	(97.4) 99.0	(729) 5	(2.6) 1.0	(28,201) 487	(100.0) 100.0

(注) 上段()数値は全国の数値である。(令和5年度の値)

(5) 危険面積・要改築面積

危険面積は耐力度点数が、木造5, 500点以下・非木造4, 500点以下の面積である。

ただし、非木造建物のうち、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5, 000点以下になったものは、危険建物として取り扱うこととされている。

数値は、鉄筋換算後のものである。

※鉄筋換算とは、保有面積のうち鉄筋コンクリート造以外の構造に係る部分があるときに、当該部分の面積に1.020を乗じて保有面積を補正することである。

校舎及び屋内運動場の危険面積及び要改築面積は、表6のとおりである。

表6 危険面積・要改築面積の推移

① 校 舎

(%・㎡)

年 度		30	1	2	3	4	5	6
区 分								
小学校	危 険 面 積	(0.6) 0.0 0	(0.6) 0.0 0	(0.6) 0.1 1,232	(0.6) 0.0 0	(0.5) 0.0 0	(0.5) 0.0 0	(-) 0.0 0
	要 改 築 面 積	(0.5) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 382	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.3) 0.0 0	(-) 0.0 0
中学校	危 険 面 積	(0.8) 0.7 5,699	(0.7) 0.0 0	(0.7) 0.0 186	(0.6) 0.0 186	(0.7) 0.0 186	(0.5) 0.0 0	(-) 0.0 0
	要 改 築 面 積	(0.6) 0.0 0	(0.5) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.5) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(-) 0.0 0

② 屋内運動場

(%・㎡)

年 度		30	1	2	3	4	5	6
区 分								
小学校	危 険 面 積	(0.5) 0.0 0	(0.5) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.3) 0.0 0	(-) 0.3 791
	要 改 築 面 積	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.3) 0.0 0	(0.3) 0.0 0	(0.2) 0.0 0	(-) 0.3 791
中学校	危 険 面 積	(0.6) 0.5 929	(0.5) 0.0 0	(0.5) 0.0 0	(0.5) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.2) 0.0 0	(-) 0.0 0
	要 改 築 面 積	(0.4) 0.5 929	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.4) 0.0 0	(0.3) 0.0 0	(0.2) 0.0 0	(-) 0.0 0

(注) 1. 中段の数値は、保有面積に対する危険・要改築面積の割合であり、上段()数値は全国の比率である。(令和6年度は12月末時点で未発表のため掲載していない)

2. 要改築面積とは、危険面積のうち、改築の国庫補助対象となる面積である。

(6) 建物の平均規模

建物の平均値は、表7のとおりである。

校舎の一枚当たりの保有面積は、小学校で全国平均値を下回り、中学校では上回っている。

一人当たりでは、小学校、中学校とも、全国平均値を上回っている。

屋内運動場の一枚及び一人当たりの保有面積は、両校種とも全国平均値を上回っている。

表7 建物の規模の平均値

区 分		学 級 数	児童・生徒数 (人)	保 有 面 積	
				校舎 (㎡)	屋内運動場 (㎡)
小学校	一枚当たり	(14.5) 12.3	(317.1) 266.2	(4,339.8) 4,268.8	(863.6) 871.4
	一人当たり			(13.7) 16.0	(2.7) 3.3
中学校	一枚当たり	(12.1) 11.2	(314.9) 307.6	(5,185.4) 5,511.6	(1,188.4) 1,228.8
	一人当たり			(14.8) 17.9	(3.8) 4.0

(注) 上段 () 数値は全国の数値である。(令和5年度の値)

校舎の保有面積は、鉄筋換算後のものである。

(7) 過大規模校の推移

過大規模校は、児童・生徒の急増期（昭和56年当時）には27校あったが、分離新設の実施や児童・生徒数の減少に伴う自然解消によって減少を続け、平成11年度に解消された。その後、平成14年度、平成17年度、平成20年度に1校ずつ増加し、3校が過大規模校となった。

そして、平成22年度には1校減少した。なお、平成30年度以降の推移は表8のとおりである。

表8 過大規模校の推移

(校)

年度 区分		30		1		2		3		4		5		6	
小学校	増		1		1	1	2		1		1	2	3	1	3
	減	1						1						1	
中学校	増		1		1		0	1	1		1		1		1
	減							1							
計	増		2		2		2		2		2	2	4	1	4
	減	1													

(注) 1. 過大規模校とは、31クラス以上（特別支援学級を含む）の学校

(8) 学校施設整備の状況

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす生活の場であり、また災害時の避難拠点としての役割を担っているが、近年は、児童生徒急増期に一齐に建設された建物の老朽化が進んでおり、耐震性の確保や教育環境の質的な整備が求められている。

ア 校舎、屋体等の整備状況（新增改築）

表9 小 学 校

（令和5年度完成）

設 置 者	学 校 名	学 級 数 普 + 特	区分	事 業 度 年 度	事 業 容 内 容	構 造 階 数	延 面 積 (㎡)	工 期
那 須 塩 原 市	箒 根 学 園	9+3	屋体	5 単年	新統改	S1	1,441	R5.7～R6.2

（令和6年度完成予定）

設 置 者	学 校 名	学 級 数 普 + 特	区分	事 業 度 年 度	事 業 容 内 容	構 造 階 数	延 面 積 (㎡)	工 期
宇 都 宮 市	城 東 小	12+2	屋体	6 単年	新增築	S2	36	R6.7～R7.2

表 10 中 学 校

(令和5年度完成)

なし

(令和6年度完成予定)

なし

(注) 1. 事業内容

新…新增築 統…統合 改…危険・不適格改築 震…地震防災対策

2. 義務教育学校については小学校分に計上している。

2 学校用地

(1) 校地面積の平均規模

校地面積の規模の平均は、表 2 2 のとおりである。校地・運動場いずれの平均値も全国平均を上回っている。

表 1 1 校地面積の規模平均一覧表

(㎡)

区 分		保 有 面 積	
		校 地	左のうち運動場
小学校	一校当たり	(17, 210)	(8, 065)
		21, 254	10, 551
	一人当たり	(54. 27)	(25. 43)
		79. 85	39. 64
中学校	一校当たり	(25, 177)	(12, 972)
		34, 431	18, 389
	一人当たり	(79. 96)	(41. 19)
		112, 14	59. 89

(注) 借用を除く。また、上段 () 数値は全国の数値である。(令和 5 年度の値)